

平成12年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート結果
森林資源の循環利用に関する意識・意向について

本アンケートは、農林水産情報交流ネットワーク事業の一環として、地域のリーダー的な役割を果たしている林業者モニター（以下「林業者」という。）及び消費情報提供協力者（以下「消費者」といい、以下これについても「モニター」という。）を対象に、植林・手入れ・伐採を通じて森林から木材を繰り返し生産し、その木材を無駄なく長期にわたって利用する「森林資源の循環利用」についての考え方などを把握し、今後、森林資源の循環利用を推進するための検討に資することを目的として平成12年6月に実施したものである。

また、農林水産省のホームページ上に消費者と同内容のアンケート票を掲載し、平成12年6月1日から1か月間、インターネットによるアンケートを試行的に実施した。

なお、この結果は参考として統計表（22～27ページ）に掲載した。



I 要 旨

- 1 森林資源の循環利用についての考え方を聞いたところ、林業者、消費者ともに、ほとんどが「重要なことだと思う」と回答している。

さらに、森林資源の循環利用を進めるに当たって、森林の整備や合理的な加工・流通体制を確立するために重要なことを聞いたところ、林業者では「国や地方自治体による支援の強化」、消費者では「森林所有者、森林組合等により森林整備や木材生産に関する自助努力」及び「国や地方自治体による支援の強化」の割合が高くなっている。

- 2 森林（特に人工林）の手入れの状況を聞いたところ、「手入れがされていない」と回答した割合は、林業者では7割（「手入れが少々足りないと思う」、「手入れがほとんどされていないと思う」のいずれかを回答した割合）、消費者では5割となっている。

さらに、手入れがされていない原因を聞いたところ、林業者では「木材の価格が安いから」、消費者では「森林を手入れする労働力が不足しているから」の割合が最も高くなっている。また、森林を整備するための効果的な方策を林業者に聞いたところ、「手入れに必要な林道などの整備への公的支援を強化する」の割合が最も高く、次いで、「誰かが手入れを代わって行い、その代行者に対して支援を行う」の順となっている。

3 手入れが十分に行われていない私有林の手入れを誰が行うべきか聞いたところ、林業者では「あくまでも森林所有者が中心となって手入れすべき」、消費者では、「分収育林への参加など国民全体で取り組むべき」の割合が最も高くなっている。

4 林業経営を行っていく上での考え方を林業者に聞いたところ、森林の所有規模では「小回りが利き、農業などとの兼業も容易な数十haから百ha程度の経営」、森林の手入れの方法では、後継者がいる者は「自家労働を主体にする」、後継者がいない者は「請け負わせを主体にする」の割合が最も高くなっている。

また、生産目標では「並材と高品質材の両方を生産することを目指す」、伐採の方法では「皆伐は行わず、間伐などを繰り返すことによってできるだけ造林や手入れの手間が生じないようにする」、林業の機械化（トラクタの配備）では「機械はなるべく持たず、伐採などは請け負わせにより対応する」の割合が最も高くなっている。

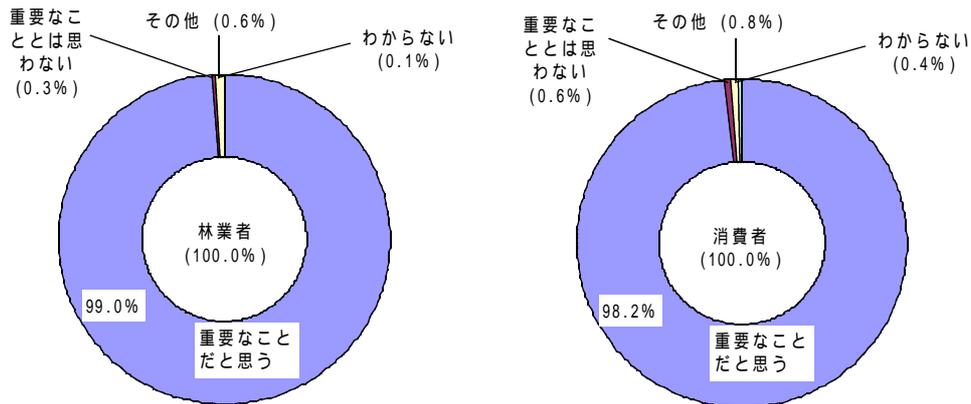
II 解説

1 森林資源の循環利用についての考え方

- モニターのほとんどが重要と認識 -

森林資源の循環利用についての考え方を、林業者及び消費者に聞いたところ、「重要なことだと思う」の割合が、林業者では99.0%，消費者では98.2%となっており、ほとんどが重要なことだと考えている。（図1参照）

図1 森林資源の循環利用についての考え方

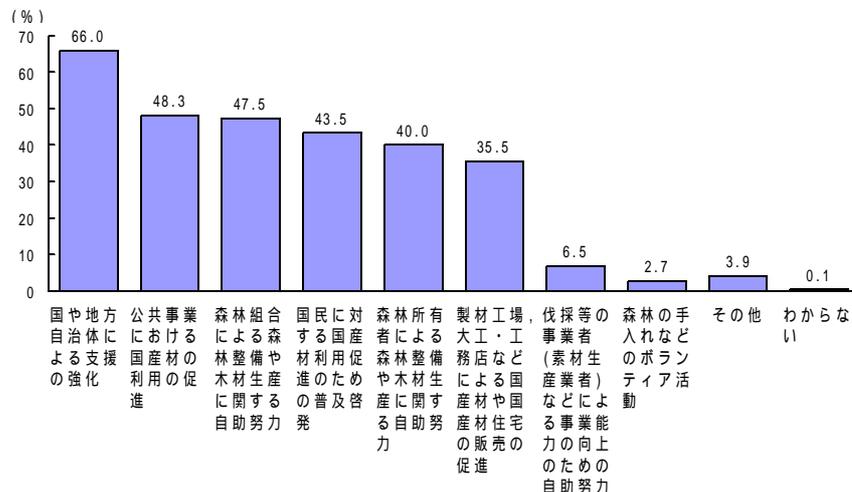


2 森林資源の循環利用を進めるに当たって重要なこと

- 林業者では「国や地方自治体による支援」、消費者では「森林所有者等による自助努力」が重要 -

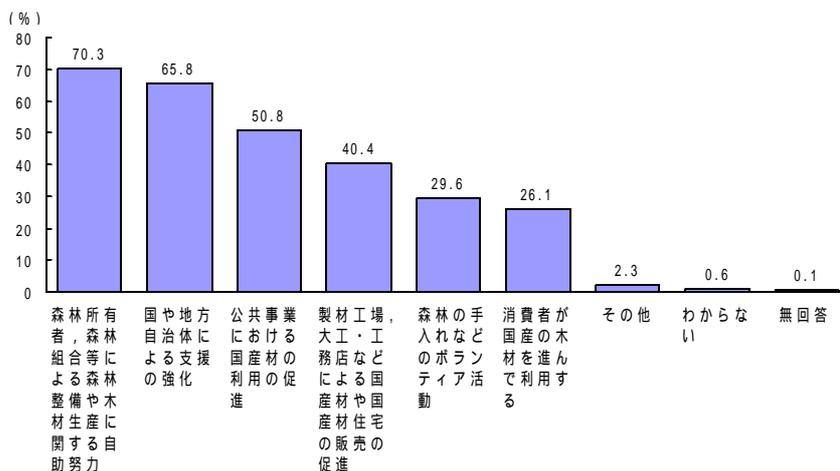
森林資源の循環利用が重要だと回答した林業者及び消費者に、森林資源の循環利用を進めるに当たって、森林の整備や合理的な加工・流通体制を確立するために重要なことを聞いたところ、林業者では「国や地方自治体による支援の強化」の割合が66.0%と最も高く、次いで、「公共事業における国産材の利用の促進」(48.3%)、「森林組合による森林整備や木材生産に関する自助努力」(47.5%)の順となっている。（図2-1参照）

図2 - 1 森林資源の循環利用を進めるに当たって重要なこと（林業者）
（複数回答（3つまで））



また、消費者では、「森林所有者、森林組合等による森林整備や木材生産に関する自助努力」の割合が70.3%と最も高く、次いで、「国や地方自治体による支援の強化」(65.8%)、「公共事業における国産材の利用の促進」(50.8%)の順となっている。(図2-2参照)

図2-2 森林資源の循環利用を進めるに当たって重要なこと(消費者)
(複数回答(3つまで))



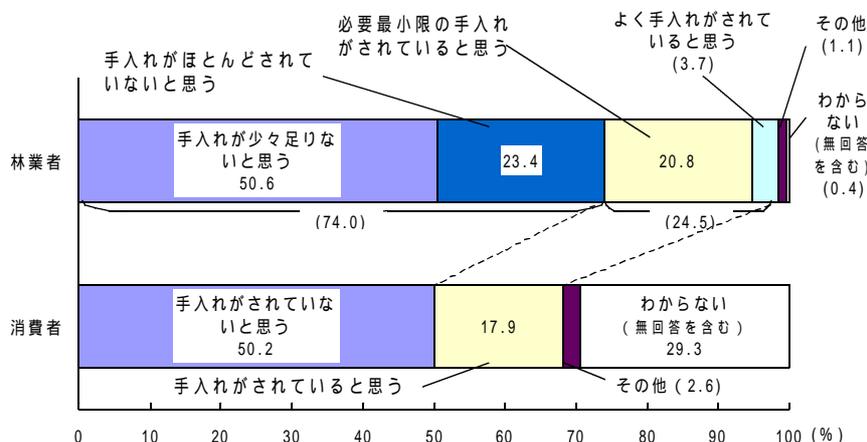
3 森林の手入れの状況

- 林業者の7割、消費者の5割が森林の手入れがされていないと回答 -

森林(特に人工林)の手入れの状況を、林業者及び消費者に聞いたところ、林業者では「手入れが少々足りないと思う」の割合が50.6%と最も高く、次いで、「手入れがほとんどされていないと思う」の順となっている。この両者を合わせると74.0%となっており、モニターの多くが「手入れがされていない」と回答している。また、「手入れがされている」と回答した割合(「必要最小限の手入れがされていると思う」及び「よく手入れがされていると思う」のいずれかを回答した割合)は24.5%と低くなっている。(図3参照)

一方、消費者では、「手入れがされていないと思う」の割合は50.2%、「手入れがされていると思う」は17.9%となっている。

図3 森林の手入れの状況

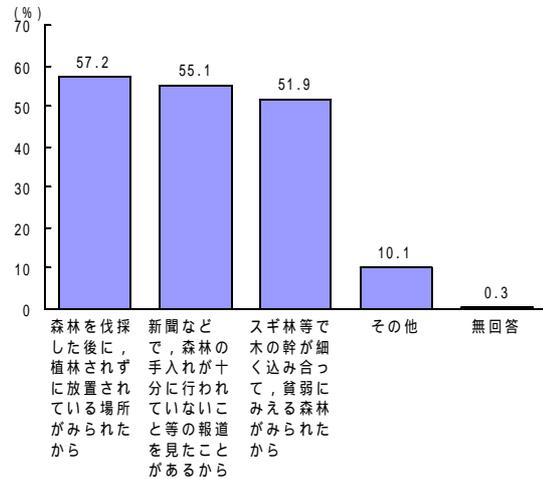


4 森林の手入れが十分に行われていないと思った理由

- 伐採後の放置や貧弱に見える森林，新聞などの報道で -

森林の手入れがされていないと回答した消費者に，その理由を聞いたところ，「森林を伐採した後に，植林されずに放置されている場所がみられたから」の割合が57.2%と最も高く，次いで，「新聞などで，森林の手入れが十分に行われていないこと等の報道を見たことがあるから」(55.1%)，「スギ林等で木の幹が細く込み合っ，貧弱に見える森林がみられたから」(51.9%)の順となっている。(図4参照)

図4 森林の手入れが十分に行われていないと思った理由(複数回答(2つまで))

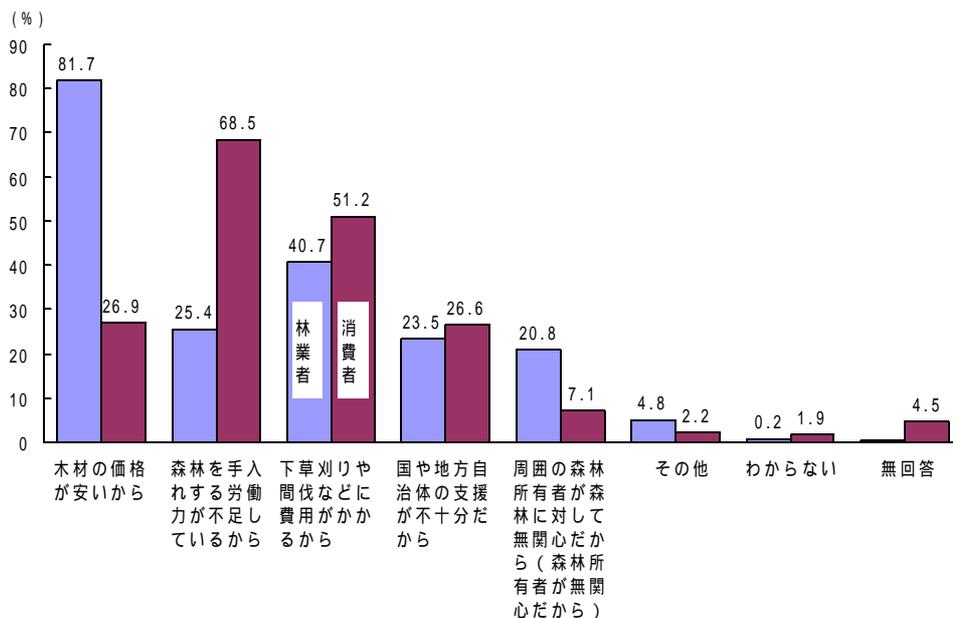


5 森林の手入れが十分に行われていない原因

- 木材価格が安い，労働力不足，下草刈りや間伐などの費用が原因 -

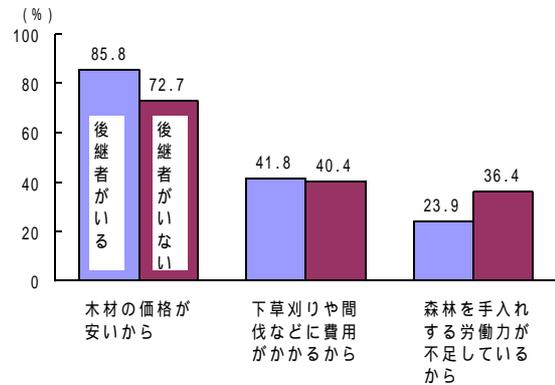
森林の手入れがされていないと回答した林業者及び消費者に，その原因を聞いたところ，林業者では「木材の価格が安いから」の割合が81.7%，消費者では「森林を手入れする労働力が不足しているから」が68.5%と最も高く，次いで，「下草刈りや間伐などに費用がかかるから」の順となっている。(図5 - 1参照)

図5 - 1 森林の手入れが十分に行われていない原因(複数回答(2つまで))



さらに、林業者について後継者の有無別にみると、「下草刈りや間伐などに費用がかかるから」では、ほぼ同じ割合(約4割)になっているが、「木材の価格が安いから」では、「後継者がいない」に比べ「後継者がいる」の割合が高くなっている。一方、「森林を手入れする労働力が不足しているから」では、「後継者がいる」に比べ「後継者がいない」の割合が高くなっている。(図5-2参照)

図5-2 林業者の後継者の有無別にみた森林の手入れが十分に行われていない原因(複数回答(2つまで))

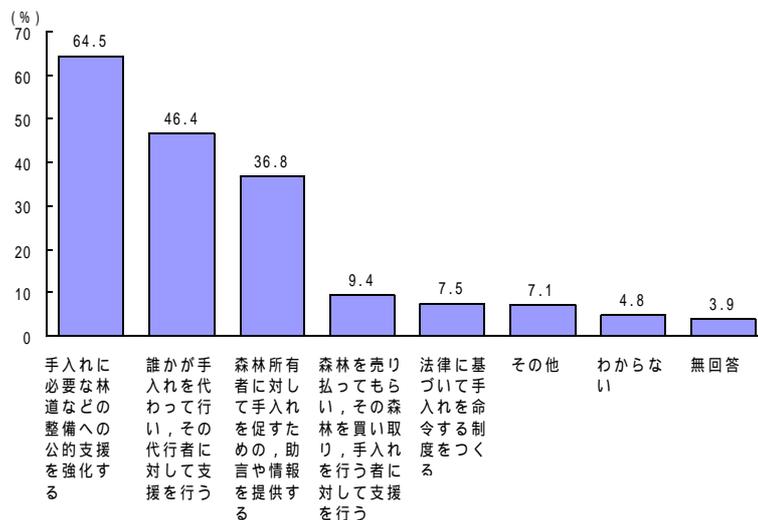


6 森林を整備するための効果的な方策

- 林道などの整備や、手入れの代行者に対する支援を望む -

森林の手入れがされていないと回答した林業者に、森林を整備するための効果的な方策を聞いたところ、「手入れに必要な林道などの整備への公的支援を強化する」の割合が64.5%と最も高く、次いで、「誰かが手入れを代わって行い、その代行者に対して支援を行う」の順となっている。(図6参照)

図6 森林を整備するための効果的な方策(複数回答(2つまで))

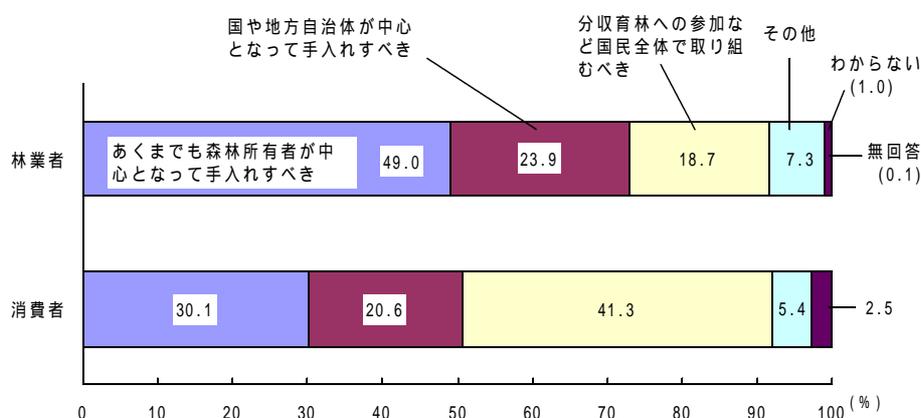


7 手入れが十分に行われていない私有林について、誰が手入れを行うべきか

- 林業者は「あくまでも森林所有者中心」、消費者は「国民全体で取り組むべき」 -
 私有林について、誰が手入れを行うべきか、林業者及び消費者に聞いたところ、林業者では「あくまでも森林所有者が中心となって手入れすべき」の割合が49.0%と最も高く、次いで、「国や地方自治体を中心となって手入れすべき」(23.9%)の順となっている。(図7参照)

一方、消費者では、「分収育林への参加など国民全体で取り組むべき」が41.3%と最も高く、次いで「あくまでも森林所有者が中心となって手入れすべき」(30.1%)の順となっている。

図7 手入れが十分に行われていない私有林について、誰が手入れを行うべきか



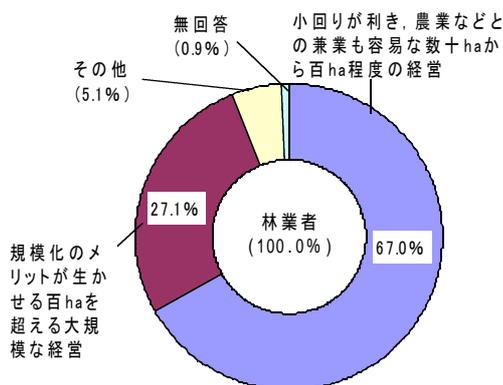
8 林業経営を行っていく上での考え方

(1) 森林の所有規模

- 数十haから百ha程度の経営が好ましい -

林業経営を行っていく上での考え方を林業者に聞いたところ、森林の所有規模では、「小回りが利き、農業などの兼業も容易な数十haから百ha程度の経営」の割合が67.0%と最も高く、次いで、「規模化のメリットが生かせる百haを超える大規模な経営」(27.1%)の順となっている。(図8-1参照)

図8-1 森林の所有規模



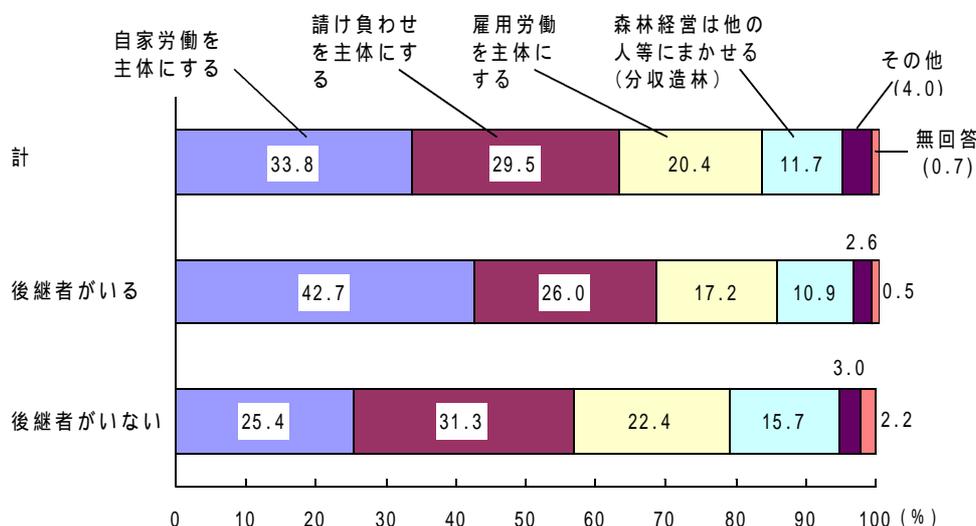
(2) 森林の手入れの方法

- 後継者がいる者は「自家労働を主体」、後継者がいない者は「請け負わせを主体」に -

森林の手入れの方法について、林業者に聞いたところ、「自家労働を主体にする」の割合が33.8%と最も高く、次いで、「請け負わせを主体にする」(29.5%)の順となっている。(図8-2参照)

これを後継者の有無別にみると、「後継者がいる」では、「自家労働を主体にする」の割合が「請け負わせを主体にする」に比べ高くなっているが、「後継者がいない」では、「請け負わせを主体にする」の割合が「自家労働を主体にする」に比べ高くなっている。

図8-2 森林の手入れの方法

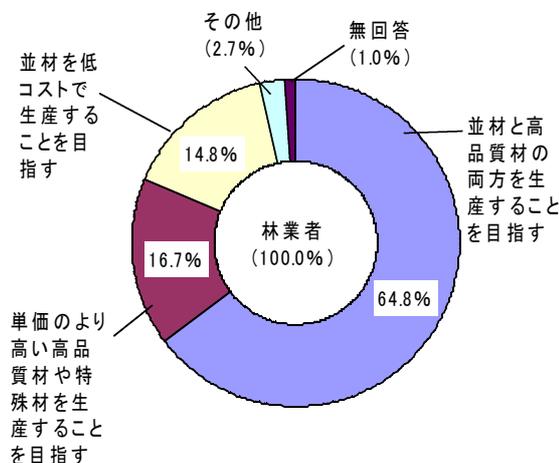


(3) 生産目標

- 並材と高品質材の両方を生産 -

生産目標について、林業者に聞いたところ「並材と高品質材の両方を生産することを目指す」の割合が64.8%と最も高く、次いで、「単価のより高い高品質材や特殊材を生産することを目指す」(16.7%)、「並材を低コストで生産することを目指す」(14.8%)の順となっている。(図8-3参照)

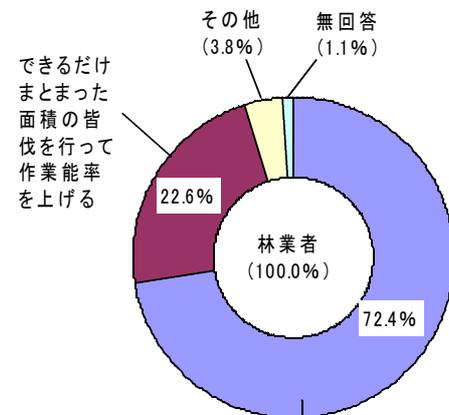
図8-3 生産目標



(4) 伐採の方法

- 皆伐は行わず，できるだけ造林や手入れの手間が生じないように -
 伐採の方法について，林業者に聞いたところ，「皆伐は行わず，間伐などを繰り返すことによってできるだけ造林や手入れの手間が生じないようにする」の割合が72.4%と最も高く，次いで，「できるだけまとまった面積の皆伐を行って作業能率を上げる」(22.6%)の順となっている。(図8-4参照)

図8-4 伐採の方法



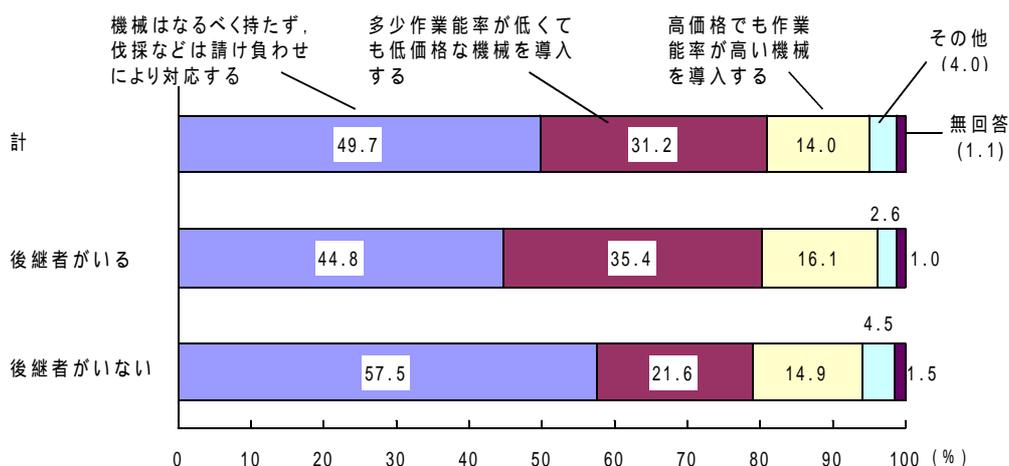
皆伐は行わず，間伐などを繰り返すことによってできるだけ造林や手入れの手間が生じないようにする

(5) 林業の機械化(トラクタ等の配備)

- 機械はなるべく持たず，請け負わせで -
 林業の機械化について，林業者に聞いたところ，「機械はなるべく持たず，伐採などは請け負わせにより対応する」の割合が49.7%と最も高く，次いで，「多少作業能率が低くても低価格な機械を導入する」(31.2%)の順となっている。(図8-5参照)

これを後継者の有無別にみると，「機械はなるべく持たず，伐採などは請け負わせにより対応する」では，「後継者がいる」に比べ「後継者がいない」の割合が高くなっている。

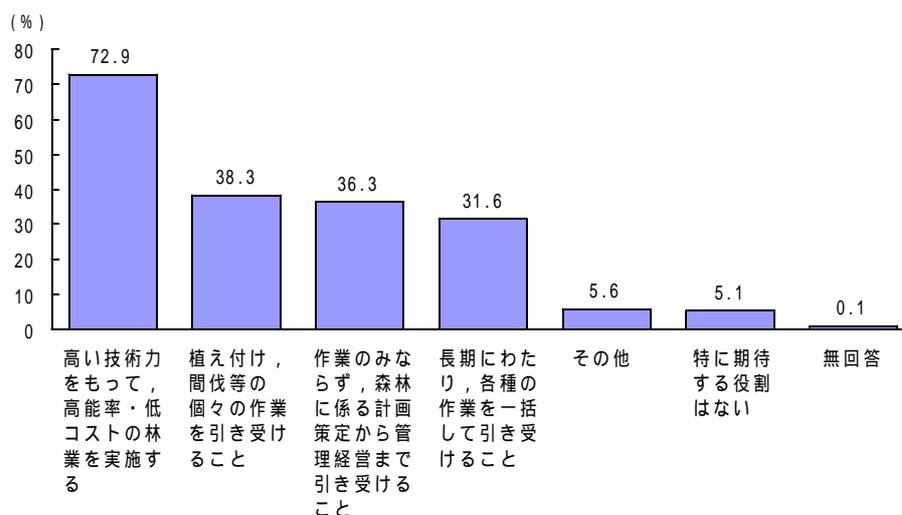
図8-5 林業の機械化



9 林業事業体（伐採等の事業者，森林組合など）に期待する役割

- 林業事業体には，高能率・低コストの林業の実施を -
林業事業体に期待する役割を林業者に聞いたところ，「高い技術力をもって，高能率・低コストの林業を実施する」の割合が72.9%と最も高く，次いで，「植え付け，間伐等の個々の作業を引き受けること」（38.3%），「作業のみならず，森林に係る計画策定から管理経営まで引き受けること」（36.3%）の順となっている。（図9参照）

図9 林業事業体（伐採等の事業者，森林組合など）に期待する役割
（複数回答（2つまで））



統計表

1 林業者モニター	12
(1) 森林資源の循環利用についての考え方	12
(2) 森林資源の循環利用を進めるに当たって重要なこと	13
(3) 森林の手入れの状況	14
(4) 森林の手入れが充分に行われていない原因	15
(5) 森林を整備するための効果的な方策	16
(6) 手入れが充分に行われていない私有林について、誰が手入れを行うべきか	17
(7) 林業経営を行っていく上での考え方	18
(8) 林業事業体（伐採等の事業者、森林組合など）に期待する役割	21
2 消費情報提供協力者	22
(1) 森林資源の循環利用についての考え方	22
(2) 森林資源の循環利用を進めるに当たって重要なこと	23
(3) 森林の手入れの状況	24
(4) 森林の手入れが充分に行われていないと思った理由	25
(5) 森林の手入れが充分に行われていない原因	26
(6) 手入れが充分に行われていない私有林について、誰が手入れを行うべきか	27

1 林業者モニター

(1) 森林資源の循環利用についての考え方

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	重要なことだと思 う	重要なこととは思 わない	そ の 他	わからない	無 回 答
計	702	100.0	99.0	0.3	0.6	0.1	-
後継者の有無別							
後継者がいる	192	100.0	99.5	0.5	-	-	-
後継者がいない	134	100.0	98.5	-	1.5	-	-
現時点ではわからない	376	100.0	98.9	0.3	0.5	0.3	-
農政局等別							
北 海 道	65	100.0	100.0	-	-	-	-
東 北	84	100.0	100.0	-	-	-	-
関 東	120	100.0	99.2	-	-	0.8	-
北 陸	33	100.0	93.9	3.0	3.0	-	-
東 海	75	100.0	98.7	-	1.3	-	-
近 畿	74	100.0	97.3	1.4	1.4	-	-
中国四国	181	100.0	99.4	-	0.6	-	-
九州・沖縄	70	100.0	100.0	-	-	-	-

1 林業者モニター（つづき）

(2) 森林資源の循環利用を進めるに当たって重要なこと（森林資源の循環利用が重要だとした者のみ、複数回答（3つまで））

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	森林所有者による 森林整備 や木材生 産に関する 自助努力	森林組合 (森林所 有者の共 同組織) による森 林整備や 木材生産 に関する 自助努力	伐採等の 事業者 (素材生 産業者) などによ る事業能 力の向上 のための 自助努力	製材工場, 大工・工 務店など による国 産材や国 産材住宅 の販売の 促進	公共事業 における 国産材の 利用の促 進	国民に対 する国産 材利用促 進のため の普及啓 発	森林の手 入れなど のポラン ティア活 動	国や地方 自治体に よる支援 の強化	その他	わからな い	無回答
計	695	100.0	40.0	47.5	6.5	35.5	48.3	43.5	2.7	66.0	3.9	0.1	-
後継者の有無別													
後継者がいる	191	100.0	39.3	49.2	8.9	44.5	44.0	40.3	2.6	62.3	3.1	-	-
後継者がいない	132	100.0	41.7	50.0	6.1	33.3	46.2	37.9	2.3	72.7	5.3	-	-
現時点ではわからない	372	100.0	39.8	45.7	5.4	31.7	51.3	47.0	3.0	65.6	3.8	0.3	-
農政局等別													
北海道	65	100.0	35.4	56.9	10.8	24.6	58.5	27.7	1.5	81.5	3.1	-	-
東北	84	100.0	38.1	46.4	3.6	36.9	46.4	46.4	4.8	64.3	7.1	-	-
関東	119	100.0	39.5	49.6	4.2	36.1	47.1	46.2	3.4	62.2	3.4	-	-
北陸	31	100.0	41.9	48.4	9.7	29.0	45.2	35.5	-	67.7	6.5	-	-
東海	74	100.0	35.1	37.8	9.5	40.5	48.6	52.7	1.4	63.5	6.8	1.4	-
近畿	72	100.0	43.1	45.8	2.8	29.2	52.8	48.6	1.4	69.4	4.2	-	-
中国四国	180	100.0	48.3	52.2	8.3	31.1	43.9	37.8	3.3	63.3	2.2	-	-
九州・沖縄	70	100.0	27.1	35.7	4.3	58.6	51.4	52.9	2.9	65.7	1.4	-	-

1 林業者モニター（つづき）
 (3) 森林の手入れの状況

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	よく手入れが されていると 思う	必要最小限の 手入れがされ ていると思う	手入れが少々 足りないと思 う	手入れがほと んどされてい ないと思う	そ の 他	わからない	無 回 答
計	702	100.0	3.7	20.8	50.6	23.4	1.1	0.3	0.1
後継者の有無別									
後継者がいる	192	100.0	3.1	26.0	52.1	17.7	0.5	0.5	-
後継者がいない	134	100.0	4.5	18.7	47.8	26.1	1.5	0.7	0.7
現時点ではわからない	376	100.0	3.7	18.9	50.8	25.3	1.3	-	-
農政局等別									
北海道	65	100.0	7.7	27.7	35.4	24.6	1.5	1.5	1.5
東北	84	100.0	4.8	17.9	42.9	33.3	1.2	-	-
関東	120	100.0	2.5	19.2	51.7	25.0	0.8	0.8	-
北陸	33	100.0	3.0	18.2	54.5	15.2	9.1	-	-
東海	75	100.0	6.7	13.3	52.0	25.3	2.7	-	-
近畿	74	100.0	1.4	16.2	51.4	31.1	-	-	-
中国四国	181	100.0	2.8	22.7	56.4	18.2	-	-	-
九州・沖縄	70	100.0	2.9	30.0	52.9	14.3	-	-	-

1 林業者モニター（つづき）

(4) 森林の手入れが十分に行われていない原因(森林の手入れが足りない又はされていないとした者のみ，複数回答(2つまで))

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	木材の価格 が安いから	下草刈りや 間伐などに 費用がかか るから	森林を手入 れする労働 力が不足し ているから	周囲の森林 所有者が森 林に対して 無関心だか ら	国や地方自 治体の支援 が不十分だ から	そ の 他	わからない	無 回 答
計	519	100.0	81.7	40.7	25.4	20.8	23.5	4.8	0.2	-
後継者の有無別										
後継者がいる	134	100.0	85.8	41.8	23.9	16.4	27.6	2.2	-	-
後継者がいない	99	100.0	72.7	40.4	36.4	17.2	22.2	8.1	-	-
現時点ではわからない	286	100.0	82.9	40.2	22.4	24.1	22.0	4.9	0.3	-
農政局等別										
北海道	39	100.0	69.2	43.6	23.1	17.9	35.9	2.6	-	-
東北	64	100.0	85.9	51.6	18.8	12.5	26.6	3.1	-	-
関東	92	100.0	80.4	46.7	21.7	26.1	18.5	6.5	-	-
北陸	23	100.0	65.2	52.2	21.7	21.7	34.8	4.3	-	-
東海	58	100.0	89.7	22.4	15.5	32.8	27.6	5.2	-	-
近畿	61	100.0	83.6	39.3	24.6	14.8	29.5	3.3	-	-
中国四国	135	100.0	81.5	38.5	37.0	17.8	18.5	4.4	-	-
九州・沖縄	47	100.0	85.1	36.2	25.5	25.5	14.9	8.5	2.1	-

1 林業者モニター（つづき）

(5) 森林を整備するための効果的な方策(森林の手入れが足りない又はされていないとした者のみ，複数回答(2つまで))

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	誰かが手入れを代わって行い，その代行者に対して支援を行う	森林を売り払ってもらい，その森林を買い取り，手入れを行う者に対して支援を行う	森林所有者に対して手入れを促すための，助言や情報を提供する	手入れに必要な林道などの整備への公的支援を強化する	法律に基づいて手入れを命令する制度をつくる	そ の 他	わからない	無 回 答
計	519	100.0	46.4	9.4	36.8	64.5	7.5	7.1	4.8	3.9
後継者の有無別										
後継者がいる	134	100.0	44.0	11.2	38.1	69.4	7.5	6.7	4.5	5.2
後継者がいない	99	100.0	48.5	9.1	40.4	61.6	4.0	7.1	3.0	6.1
現時点ではわからない	286	100.0	46.9	8.7	35.0	63.3	8.7	7.3	5.6	2.4
農政局等別										
北海道	39	100.0	33.3	17.9	28.2	46.2	15.4	7.7	20.5	2.6
東北	64	100.0	40.6	7.8	37.5	54.7	6.3	6.3	6.3	6.3
関東	92	100.0	58.7	5.4	40.2	69.6	3.3	6.5	3.3	-
北陸	23	100.0	34.8	13.0	34.8	69.6	13.0	17.4	8.7	-
東海	58	100.0	36.2	15.5	39.7	62.1	17.2	8.6	3.4	3.4
近畿	61	100.0	50.8	9.8	32.8	72.1	1.6	6.6	-	3.3
中国四国	135	100.0	47.4	5.9	40.0	66.7	5.9	5.2	4.4	5.9
九州・沖縄	47	100.0	51.1	12.8	29.8	68.1	8.5	8.5	-	6.4

1 林業者モニター（つづき）

(6) 手入れが十分に行われていない私有林について，誰が手入れを行うべきか

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	あくまでも森林 所有者が中心と なって手入れす べき	国や地方自治体 が中心となって 手入れすべき	分収育林への参 加など国民全体 で取り組むべき	そ の 他	わからない	無 回 答
計	702	100.0	49.0	23.9	18.7	7.3	1.0	0.1
後継者の有無別								
後継者がいる	192	100.0	50.0	24.0	18.8	6.8	0.5	-
後継者がいない	134	100.0	52.2	24.6	16.4	5.2	1.5	-
現時点ではわからない	376	100.0	47.3	23.7	19.4	8.2	1.1	0.3
農政局等別								
北海道	65	100.0	63.1	26.2	7.7	3.1	-	-
東北	84	100.0	52.4	22.6	16.7	6.0	2.4	-
関東	120	100.0	45.0	23.3	21.7	7.5	2.5	-
北陸	33	100.0	48.5	21.2	15.2	12.1	-	3.0
東海	75	100.0	53.3	22.7	10.7	13.3	-	-
近畿	74	100.0	36.5	33.8	23.0	6.8	-	-
中国四国	181	100.0	51.4	19.9	22.1	6.6	-	-
九州・沖縄	70	100.0	41.4	27.1	22.9	5.7	2.9	-

1 林業者モニター（つづき）
 (7) 林業経営を行っていく上での考え方
 ア 森林の所有規模

イ 森林の手入れの方法

単位：%

区 分	回答数 (人)	計	規模化の メリットが 生かせる 百haを 超える大 規模な経 営	小回りが 利き、農 業などと の兼業な りも数 十haから 百ha程度 の経営	その他	無回答	回答数 (人)	計	自家労働 を主体に する	雇用労働 を主体に する	請け負わ せを主体 にする	森林経営 は他の人 等にまか せる(分 収造林)	その他	無回答
計	702	100.0	27.1	67.0	5.1	0.9	702	100.0	33.8	20.4	29.5	11.7	4.0	0.7
後継者の有無別														
後継者がいる	192	100.0	26.6	68.2	4.7	0.5	192	100.0	42.7	17.2	26.0	10.9	2.6	0.5
後継者がいない	134	100.0	26.9	66.4	4.5	2.2	134	100.0	25.4	22.4	31.3	15.7	3.0	2.2
現時点ではわからない	376	100.0	27.4	66.5	5.6	0.5	376	100.0	32.2	21.3	30.6	10.6	5.1	0.3
農政局等別														
北海道	65	100.0	38.5	50.8	7.7	3.1	65	100.0	24.6	16.9	44.6	7.7	3.1	3.1
東北	84	100.0	35.7	60.7	3.6	-	84	100.0	19.0	27.4	45.2	3.6	4.8	-
関東	120	100.0	22.5	71.7	5.8	-	120	100.0	35.0	17.5	25.0	15.8	5.8	0.8
北陸	33	100.0	18.2	60.6	15.2	6.1	33	100.0	33.3	12.1	21.2	21.2	9.1	3.0
東海	75	100.0	28.0	66.7	5.3	-	75	100.0	40.0	21.3	22.7	9.3	6.7	-
近畿	74	100.0	31.1	63.5	5.4	-	74	100.0	16.2	24.3	39.2	18.9	1.4	-
中国四国	181	100.0	23.8	71.8	3.9	0.6	181	100.0	42.5	18.8	22.7	12.7	2.8	0.6
九州・沖縄	70	100.0	21.4	75.7	1.4	1.4	70	100.0	47.1	22.9	22.9	5.7	1.4	-

1 林業者モニター（つづき）

(7) 林業経営を行っていく上での考え方（つづき）

ウ 生産目標

エ 伐採の方法

単位：%

区 分	回答数 (人)	計	並材を低 コストで 生産する ことを 指す	並材と高 品質材を 両方する ことを 指す	単価のよ り高い高 品質材や 特殊材を 生産する ことを 指す	その他	無回答	回答数 (人)	計	できるだけ まとまった 面積の皆伐 を行って 作業能率 を上げる	皆伐は行わ ず、間伐な どを繰り返 すことによ って造林 や手入れの 手間が生じ ないように する	その他	無回答
計	702	100.0	14.8	64.8	16.7	2.7	1.0	702	100.0	22.6	72.4	3.8	1.1
後継者の有無別													
後継者がいる	192	100.0	17.7	63.0	16.1	2.1	1.0	192	100.0	19.3	76.6	3.1	1.0
後継者がいない	134	100.0	14.2	66.4	14.9	2.2	2.2	134	100.0	26.9	67.2	3.7	2.2
現時点ではわからない	376	100.0	13.6	65.2	17.6	3.2	0.5	376	100.0	22.9	72.1	4.3	0.8
農政局等別													
北海道	65	100.0	15.4	56.9	23.1	1.5	3.1	65	100.0	15.4	81.5	-	3.1
東北	84	100.0	9.5	67.9	21.4	1.2	-	84	100.0	14.3	79.8	6.0	-
関東	120	100.0	10.0	70.0	17.5	2.5	-	120	100.0	35.0	60.8	3.3	0.8
北陸	33	100.0	21.2	45.5	18.2	9.1	6.1	33	100.0	27.3	60.6	6.1	6.1
東海	75	100.0	17.3	66.7	10.7	5.3	-	75	100.0	16.0	80.0	4.0	-
近畿	74	100.0	17.6	62.2	18.9	1.4	-	74	100.0	29.7	66.2	4.1	-
中国四国	181	100.0	14.9	66.3	15.5	2.2	1.1	181	100.0	21.5	73.5	3.9	1.1
九州・沖縄	70	100.0	20.0	65.7	10.0	2.9	1.4	70	100.0	18.6	75.7	4.3	1.4

1 林業者モニター（つづき）
 (7) 林業経営を行っていく上での考え方（つづき）
 オ 林業の機械化（トラクタ等の配備）

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	高価格でも作業能 率が高い機械を導 入する	多少作業能率が低 くても低価格な機 械を導入する	機械はなるべく持 たず、伐採などは 請け負わせにより 対応する	そ の 他	無 回 答
計	702	100.0	14.0	31.2	49.7	4.0	1.1
後継者の有無別							
後継者がいる	192	100.0	16.1	35.4	44.8	2.6	1.0
後継者がいない	134	100.0	14.9	21.6	57.5	4.5	1.5
現時点ではわからない	376	100.0	12.5	32.4	49.5	4.5	1.1
農政局等別							
北 海 道	65	100.0	10.8	26.2	56.9	4.6	1.5
東 北	84	100.0	10.7	27.4	58.3	3.6	-
関 東	120	100.0	14.2	29.2	54.2	2.5	-
北 陸	33	100.0	9.1	24.2	48.5	12.1	6.1
東 海	75	100.0	14.7	42.7	37.3	5.3	-
近 畿	74	100.0	8.1	27.0	63.5	1.4	-
中国四国	181	100.0	20.4	30.4	43.6	4.4	1.1
九州・沖縄	70	100.0	11.4	41.4	40.0	2.9	4.3

1 林業者モニター（つづき）

(8) 林業事業体（伐採等の事業者，森林組合など）に期待する役割（複数回答（2つまで））

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	高い技術力をも って，高能率・低 コストの林業を 実施する	植え付け，間 伐等の個々の 作業を引き受 けること	長期にわた り，各種の作 業を一括して 引き受けるこ と	作業のみなら ず，森林に係 る計画策定か ら管理経営ま で引き受ける こと	そ の 他	特に期待する 役割はない	無 回 答
計	702	100.0	72.9	38.3	31.6	36.3	5.6	5.1	0.1
後継者の有無別									
後継者がいる	192	100.0	75.5	42.7	26.0	35.4	7.3	4.2	-
後継者がいない	134	100.0	66.4	38.1	35.1	36.6	4.5	6.7	-
現時点ではわからない	376	100.0	73.9	36.2	33.2	36.7	5.1	5.1	0.3
農政局等別									
北海道	65	100.0	55.4	47.7	35.4	38.5	7.7	9.2	-
東北	84	100.0	71.4	38.1	29.8	41.7	4.8	3.6	-
関東	120	100.0	65.8	38.3	40.8	34.2	5.0	5.8	-
北陸	33	100.0	81.8	24.2	33.3	27.3	6.1	9.1	3.0
東海	75	100.0	80.0	29.3	26.7	41.3	9.3	4.0	-
近畿	74	100.0	78.4	35.1	33.8	41.9	5.4	1.4	-
中国四国	181	100.0	75.7	38.1	28.2	33.7	3.9	6.1	-
九州・沖縄	70	100.0	78.6	50.0	25.7	31.4	5.7	2.9	-

2 消費情報提供協力者
 (1) 森林資源の循環利用についての考え方

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	重要なことだと思 う	重要なこととは思 わない	そ の 他	わからない	無 回 答
計	1 378	100.0	98.2	0.6	0.8	0.4	-
男 女 別							
男 性	631	100.0	97.6	0.6	1.3	0.5	-
女 性	747	100.0	98.7	0.5	0.4	0.4	-
年 齢 階 層 別							
20～29歳	158	100.0	94.3	1.9	2.5	1.3	-
30～39	277	100.0	97.8	0.7	1.1	0.4	-
40～49	301	100.0	99.3	0.3	-	0.3	-
50～64	339	100.0	98.8	0.3	0.6	0.3	-
65歳以上	303	100.0	98.7	0.3	0.7	0.3	-
男 女 別・年 齢 階 層 別							
男 性							
20～29歳	76	100.0	92.1	1.3	3.9	2.6	-
30～39	128	100.0	97.7	0.8	1.6	-	-
40～49	131	100.0	99.2	-	-	0.8	-
50～64	140	100.0	97.9	0.7	1.4	-	-
65歳以上	156	100.0	98.7	0.6	0.6	-	-
女 性							
20～29歳	82	100.0	96.3	2.4	1.2	-	-
30～39	149	100.0	98.0	0.7	0.7	0.7	-
40～49	170	100.0	99.4	0.6	-	-	-
50～64	199	100.0	99.5	-	-	0.5	-
65歳以上	147	100.0	98.6	-	0.7	0.7	-
農 政 局 等 別							
北 海 道	97	100.0	97.9	1.0	-	1.0	-
東 北 道	113	100.0	98.2	0.9	0.9	-	-
関 東 道	386	100.0	98.4	0.5	0.5	0.5	-
北 陸 道	88	100.0	100.0	-	-	-	-
東 海 道	88	100.0	96.6	1.1	2.3	-	-
近 畿 道	225	100.0	99.1	-	-	0.9	-
中 国 四 国	200	100.0	97.5	0.5	1.5	0.5	-
九 州 ・ 沖 縄	181	100.0	97.2	1.1	1.7	-	-
(参考)インターネット調査	109	100.0	94.5	-	5.5	-	-

注： 参考のインターネットの数値は、農林水産省のホームページに掲載し、平成12年6月1日から30日まで試行的に実施したものである。(以下、各表同じ。)

2 消費情報提供協力者（つづき）

(2) 森林資源の循環利用を進めるに当たって重要なこと（森林資源の循環利用が重要だとした者のみ、複数回答（3つまで））

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	森林所有者， 森林組合（森 林所有者の共 同組織）等 による森林整備 や木材生産に 関する自助努 力	製材工場， 大工・工務 店などによ る国産材や 国産材住宅 の販売の促 進	公共事業に おける国産 材の利用の 促進	消費者が国 産の木材を 進んで利用 する	森林の手入 れなどのボ ランティア 活動	国や地方自 治体による 支援の強化	その他	わからない	無回答
計	1 353	100.0	70.3	40.4	50.8	26.1	29.6	65.8	2.3	0.6	0.1
男 女 別											
男 性	616	100.0	72.1	38.3	50.6	26.5	29.4	63.6	2.9	0.8	0.3
女 性	737	100.0	68.8	42.2	50.9	25.8	29.9	67.6	1.8	0.4	-
年 齢 階 層 別											
2 0 ～ 2 9 歳	149	100.0	61.1	28.9	44.3	25.5	42.3	63.1	2.7	1.3	-
3 0 ～ 3 9	271	100.0	66.1	35.8	50.2	19.6	35.4	69.0	3.3	0.7	0.4
4 0 ～ 4 9	299	100.0	67.9	40.8	49.5	22.1	35.1	66.6	2.0	0.7	-
5 0 ～ 6 4	335	100.0	74.3	45.7	52.8	30.7	25.4	62.1	2.1	0.3	-
6 5 歳 以 上	299	100.0	76.6	44.1	53.5	31.1	17.4	67.6	1.7	0.3	0.3
男 女 別 ・ 年 齢 階 層 別											
男 性											
2 0 ～ 2 9 歳	70	100.0	65.7	27.1	44.3	24.3	44.3	58.6	4.3	1.4	-
3 0 ～ 3 9	125	100.0	70.4	34.4	48.0	21.6	33.6	62.4	4.0	0.8	0.8
4 0 ～ 4 9	130	100.0	66.2	36.9	46.9	26.2	35.4	66.2	3.8	0.8	-
5 0 ～ 6 4	137	100.0	75.2	42.3	54.0	27.7	28.5	62.0	1.5	0.7	-
6 5 歳 以 上	154	100.0	78.6	44.2	55.8	30.5	14.9	66.2	1.9	0.6	0.6
女 性											
2 0 ～ 2 9 歳	79	100.0	57.0	30.4	44.3	26.6	40.5	67.1	1.3	1.3	-
3 0 ～ 3 9	146	100.0	62.3	37.0	52.1	17.8	37.0	74.7	2.7	0.7	-
4 0 ～ 4 9	169	100.0	69.2	43.8	51.5	18.9	34.9	66.9	0.6	0.6	-
5 0 ～ 6 4	198	100.0	73.7	48.0	52.0	32.8	23.2	62.1	2.5	-	-
6 5 歳 以 上	145	100.0	74.5	44.1	51.0	31.7	20.0	69.0	1.4	-	-
農 政 局 等 別											
北 海 道	95	100.0	73.7	25.3	62.1	25.3	30.5	71.6	1.1	1.1	-
東 北 道	111	100.0	68.5	34.2	50.5	26.1	30.6	64.9	3.6	-	-
関 東 道	380	100.0	68.7	42.6	52.6	27.6	30.8	65.3	1.3	-	-
北 陸 道	88	100.0	75.0	42.0	45.5	28.4	26.1	63.6	1.1	2.3	-
東 海 道	85	100.0	64.7	42.4	51.8	22.4	17.6	77.6	2.4	-	1.2
近 畿 道	223	100.0	69.1	41.3	46.2	22.9	34.1	65.0	2.7	1.8	0.4
中 国 四 国	195	100.0	71.8	43.6	47.2	27.7	29.7	62.1	2.6	-	-
九 州 ・ 沖 縄	176	100.0	73.3	41.5	52.8	26.1	27.8	64.8	4.0	0.6	-
(参考)インターネット調査	103	100.0	49.5	35.9	43.7	41.7	22.3	53.4	24.3	-	1.0

2 消費情報提供協力者(つづき)
 (3) 森林の手入れの状況

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	手入れがされてい ると思う	手入れがされてい ないと思う	そ の 他	わからない	無 回 答
計	1 378	100.0	17.9	50.2	2.6	29.2	0.1
男 女 別							
男 性	631	100.0	18.1	55.5	2.1	24.4	-
女 性	747	100.0	17.8	45.8	3.1	33.2	0.1
年 齢 階 層 別							
20～29歳	158	100.0	25.3	28.5	2.5	43.7	-
30～39	277	100.0	19.9	36.8	1.4	41.5	0.4
40～49	301	100.0	13.3	48.8	2.0	35.9	-
50～64	339	100.0	15.9	60.8	3.5	19.8	-
65歳以上	303	100.0	19.1	63.4	3.3	14.2	-
男 女 別・年 齢 階 層 別							
男 性							
20～29歳	76	100.0	25.0	32.9	2.6	39.5	-
30～39	128	100.0	20.3	36.7	0.8	42.2	-
40～49	131	100.0	16.0	51.1	0.8	32.1	-
50～64	140	100.0	17.1	66.4	3.6	12.9	-
65歳以上	156	100.0	15.4	75.6	2.6	6.4	-
女 性							
20～29歳	82	100.0	25.6	24.4	2.4	47.6	-
30～39	149	100.0	19.5	36.9	2.0	40.9	0.7
40～49	170	100.0	11.2	47.1	2.9	38.8	-
50～64	199	100.0	15.1	56.8	3.5	24.6	-
65歳以上	147	100.0	23.1	50.3	4.1	22.4	-
農 政 局 等 別							
北 海 道	97	100.0	22.7	38.1	-	38.1	1.0
東 北	113	100.0	15.9	49.6	1.8	32.7	-
関 東	386	100.0	16.1	55.4	1.8	26.7	-
北 陸	88	100.0	22.7	45.5	3.4	28.4	-
東 海	88	100.0	13.6	61.4	3.4	21.6	-
近 畿	225	100.0	20.0	46.2	4.0	29.8	-
中国四国	200	100.0	16.0	50.5	3.0	30.5	-
九州・沖縄	181	100.0	19.9	47.5	3.3	29.3	-
(参考)インターネット調査	109	100.0	4.6	73.4	11.0	10.1	0.9

2 消費情報提供協力者(つづき)

(4) 森林の手入れが十分に行われていないと思った理由(森林の手入れがされていないとした者のみ、複数回答(2つまで))

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	森林を伐採した後 に、植林されずに 放置されている場 所がみられたから	スギ林等で木の幹 が細く込み合っ て、貧弱に見える 森林がみられたか ら	新聞などで、森林 の手入れが十分に 行われていないこ と等の報道を見た ことがあるから	そ の 他	無 回 答
計	692	100.0	57.2	51.9	55.1	10.1	0.3
男 女 別							
男 性	350	100.0	58.9	54.0	50.9	10.6	0.3
女 性	342	100.0	55.6	49.7	59.4	9.6	0.3
年 齢 階 層 別							
20～29歳	45	100.0	66.7	48.9	57.8	6.7	-
30～39	102	100.0	54.9	31.4	56.9	9.8	-
40～49	147	100.0	51.7	49.7	50.3	9.5	1.4
50～64	206	100.0	55.3	54.4	59.2	10.2	-
65歳以上	192	100.0	62.5	62.5	52.6	11.5	-
男 女 別・年 齢 階 層 別							
男 性							
20～29歳	25	100.0	64.0	52.0	64.0	4.0	-
30～39	47	100.0	59.6	34.0	46.8	10.6	-
40～49	67	100.0	55.2	49.3	49.3	11.9	1.5
50～64	93	100.0	53.8	55.9	51.6	11.8	-
65歳以上	118	100.0	63.6	63.6	50.0	10.2	-
女 性							
20～29歳	20	100.0	70.0	45.0	50.0	10.0	-
30～39	55	100.0	50.9	29.1	65.5	9.1	-
40～49	80	100.0	48.8	50.0	51.3	7.5	1.3
50～64	113	100.0	56.6	53.1	65.5	8.8	-
65歳以上	74	100.0	60.8	60.8	56.8	13.5	-
農 政 局 等 別							
北 海 道	37	100.0	67.6	29.7	67.6	10.8	-
東 北 道	56	100.0	57.1	58.9	48.2	8.9	-
関 東 道	214	100.0	57.0	55.1	53.3	12.1	0.5
北 陸 道	40	100.0	60.0	45.0	57.5	-	-
東 海 道	54	100.0	55.6	44.4	53.7	11.1	-
近 畿 道	104	100.0	57.7	48.1	57.7	8.7	-
中 国 四 国	101	100.0	50.5	59.4	58.4	8.9	-
九 州 ・ 沖 縄	86	100.0	60.5	52.3	51.2	12.8	1.2
(参考)インターネット調査	80	100.0	28.8	72.5	30.0	26.3	-

2 消費情報提供協力者(つづき)

(5) 森林の手入れが十分に行われていない原因(森林の手入れがされていないとした者のみ、複数回答(2つまで))

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	木材の価格 が安いから	下草刈りや 間伐などに 費用がかか るから	森林を手入 れする労働 力が不足し ているから	森林所有者 が無関心だ から	国や地方自 治体の支援 が不十分だ から	そ の 他	わからない	無 回 答
計	692	100.0	26.9	51.2	68.5	7.1	26.6	2.2	1.9	4.5
男 女 別										
男 性	350	100.0	31.4	48.3	66.6	7.4	24.9	2.3	1.7	4.9
女 性	342	100.0	22.2	54.1	70.5	6.7	28.4	2.0	2.0	4.1
年 齢 階 層 別										
20～29歳	45	100.0	24.4	40.0	71.1	11.1	33.3	-	2.2	6.7
30～39	102	100.0	22.5	46.1	59.8	13.7	29.4	1.0	2.0	6.9
40～49	147	100.0	16.3	54.4	68.7	12.9	22.4	2.0	2.7	5.4
50～64	206	100.0	30.1	50.0	71.8	1.9	27.7	3.9	2.4	2.4
65歳以上	192	100.0	34.4	55.2	68.8	3.6	25.5	1.6	0.5	4.2
男 女 別・年 齢 階 層 別										
男 性										
20～29歳	25	100.0	20.0	40.0	72.0	16.0	36.0	-	4.0	4.0
30～39	47	100.0	34.0	36.2	53.2	19.1	17.0	-	2.1	10.6
40～49	67	100.0	25.4	47.8	65.7	11.9	20.9	4.5	3.0	4.5
50～64	93	100.0	30.1	46.2	69.9	2.2	26.9	4.3	2.2	4.3
65歳以上	118	100.0	37.3	56.8	68.6	2.5	26.3	0.8	-	3.4
女 性										
20～29歳	20	100.0	30.0	40.0	70.0	5.0	30.0	-	-	10.0
30～39	55	100.0	12.7	54.5	65.5	9.1	40.0	1.8	1.8	3.6
40～49	80	100.0	8.8	60.0	71.3	13.8	23.8	-	2.5	6.3
50～64	113	100.0	30.1	53.1	73.5	1.8	28.3	3.5	2.7	0.9
65歳以上	74	100.0	29.7	52.7	68.9	5.4	24.3	2.7	1.4	5.4
農 政 局 等 別										
北 海 道	37	100.0	27.0	37.8	54.1	16.2	40.5	-	5.4	5.4
東 北 道	56	100.0	30.4	42.9	67.9	1.8	35.7	1.8	1.8	3.6
関 東 道	214	100.0	22.0	56.1	69.6	6.5	26.6	2.3	3.7	2.8
北 陸 道	40	100.0	17.5	47.5	72.5	12.5	22.5	10.0	2.5	-
東 海 道	54	100.0	16.7	50.0	53.7	5.6	48.1	-	-	11.1
近 畿 道	104	100.0	24.0	54.8	68.3	7.7	21.2	1.9	1.0	7.7
中 国 四 国	101	100.0	32.7	54.5	74.3	5.9	18.8	2.0	-	4.0
九 州 ・ 沖 縄	86	100.0	44.2	44.2	73.3	7.0	18.6	1.2	-	3.5
(参考)インターネット調査	80	100.0	67.5	41.3	33.8	13.8	18.8	15.0	-	2.5

2 消費情報提供協力者(つづき)

(6) 手入れが十分に行われていない私有林について、誰が手入れを行うべきか

単位：%

区 分	回 答 数 (人)	計	あくまでも森林 所有者が中心と なって手入れす べき	国や地方自治体 が中心となって 手入れすべき	分収育林への参 加など国民全体 で取り組むべき	そ の 他	わからない	無 回 答
計	1 378	100.0	30.1	20.6	41.3	5.4	2.5	-
男 女 別								
男 性	631	100.0	32.8	20.9	38.4	5.9	2.1	-
女 性	747	100.0	27.8	20.3	43.8	5.1	2.9	-
年 齢 階 層 別								
20～29歳	158	100.0	29.1	19.6	43.7	4.4	3.2	-
30～39	277	100.0	31.4	20.9	40.4	5.4	1.8	-
40～49	301	100.0	21.9	21.3	47.2	6.0	3.7	-
50～64	339	100.0	28.0	17.7	45.7	6.5	2.1	-
65歳以上	303	100.0	39.9	23.4	30.0	4.3	2.3	-
男 女 別・年 齢 階 層 別								
男 性								
20～29歳	76	100.0	31.6	18.4	38.2	6.6	5.3	-
30～39	128	100.0	32.0	20.3	41.4	5.5	0.8	-
40～49	131	100.0	22.9	20.6	47.3	6.1	3.1	-
50～64	140	100.0	30.7	20.0	40.7	7.1	1.4	-
65歳以上	156	100.0	44.2	23.7	26.3	4.5	1.3	-
女 性								
20～29歳	82	100.0	26.8	20.7	48.8	2.4	1.2	-
30～39	149	100.0	30.9	21.5	39.6	5.4	2.7	-
40～49	170	100.0	21.2	21.8	47.1	5.9	4.1	-
50～64	199	100.0	26.1	16.1	49.2	6.0	2.5	-
65歳以上	147	100.0	35.4	23.1	34.0	4.1	3.4	-
農政局等別								
北海道	97	100.0	26.8	30.9	37.1	3.1	2.1	-
東北	113	100.0	28.3	20.4	39.8	8.8	2.7	-
関東	386	100.0	27.7	21.0	43.0	5.7	2.6	-
北陸	88	100.0	29.5	25.0	37.5	4.5	3.4	-
東海	88	100.0	30.7	23.9	35.2	9.1	1.1	-
近畿	225	100.0	33.8	17.3	42.2	3.6	3.1	-
中国四国	200	100.0	28.0	17.5	46.5	5.0	3.0	-
九州・沖縄	181	100.0	35.9	18.2	38.7	5.5	1.7	-
(参考)インターネット調査	109	100.0	17.4	24.8	42.2	11.0	2.8	1.8

[参考]

平成12年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート票
森林資源の循環利用に関する意識・意向について

(平成12年6月)(林業者モニター用)

農林水産省

アンケート票に記載いただいた内容は秘密扱いとし、統計を作成する以外の目的に使用することはありませんので、ありのままを回答用紙に御記入ください。

森林資源の循環利用について

我が国では、森林面積の4割を占める1千万haの人工林を中心に、着実に森林が育っており、これらの人工林は、徐々に伐採可能な時期を迎えつつあります。

森林は、伐採を行っても、その後に苗木を植え、下草刈りなどの手入れを行うことにより再生することができる再生可能な資源です。このように、植林・手入れ・伐採を通じて、森林から木材を繰り返し生産し、その木材を無駄なく長期にわたって利用することを「森林資源の循環利用」といいます。

本アンケートは、森林資源の循環利用を推進するため、森林資源の循環利用についての考え方や森林の手入れに関する意向等を把握するものです。

問1 森林は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収・固定する働きをもち、地球温暖化の防止に貢献していますが、あなたは、我が国において、健全な森林資源を育成し、そこから生産される木材を無駄なく長期にわたり利用していく（森林資源の循環利用）ことについて、どのように考えますか。
(該当する番号を1つ回答用紙に記入してください。)

- 1 重要なことだと思う
- 2 重要なこととは思わない
- 3 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)
- 4 わからない

(問1で「1」を選択された方にお聞きします。)

問2 森林資源の循環利用を進めていくためには、森林を整備することはもとより、合理的な加工・流通体制を確立することなどが必要となりますが、あなたは、森林資源の循環利用を進めるに当たって、何が重要だとお考えですか。
(該当する番号を3つまで回答用紙に記入してください。)

- 1 森林所有者による森林整備や木材生産に関する自助努力
- 2 森林組合(森林所有者の共同組織)による森林整備や木材生産に関する自助努力
- 3 伐採等の事業者(素材生産業者)などによる事業能力の向上のための自助努力
- 4 製材工場、大工・工務店などによる国産材や国産材住宅の販売の促進
- 5 公共事業における国産材の利用の促進
- 6 国民に対する国産材利用促進のための普及啓発
- 7 森林の手入れなどのボランティア活動
- 8 国や地方自治体による支援の強化
- 9 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)
- 10 わからない

〔参考〕

問3 森林資源の循環利用を進めるために、特に人工林については、手入れ（下草刈り、間伐など）を行い、健全に育てていくことが重要になりますが、あなたは、あなたの周囲の森林の手入れの状況についてどのようにお考えですか。
（該当する番号を1つ回答用紙に記入してください。）

- 1 よく手入れがされていると思う
- 2 必要最小限の手入れがされていると思う
- 3 手入れが少々足りないと思う
- 4 手入れがほとんどされていないと思う
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 6 わからない

（問3で「3又は4」を選択された方にお聞きします。）

問4 あなたは、森林の手入れが十分に行われていない原因として、どのようなものがあると考えますか。（該当する番号を2つまで回答用紙に記入してください。）

- 1 木材の価格が安いから
- 2 下草刈りや間伐などに費用がかかるから
- 3 森林を手入れする労働力が不足しているから
- 4 周囲の森林所有者が森林に対して無関心だから
- 5 国や地方自治体の支援が不十分だから
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 7 わからない

（問3で「3又は4」を選択された方にお聞きします。）

問5 あなたは、森林の手入れが十分に行われていない森林を整備するための方策として、どのようなことが効果的だとお考えですか。
（該当する番号を2つまで回答用紙に記入してください。）

- 1 誰かが手入れを代わって行い、その代行者に対して支援を行う
- 2 森林を売り払ってもらい、その森林を買い取り、手入れを行う者に対して支援を行う
- 3 森林所有者に対して手入れを促すための、助言や情報を提供する
- 4 手入れに必要な林道などの整備への公的支援を強化する
- 5 法律に基づいて手入れを命令する制度をつくる
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 7 わからない

問6 森林資源の循環利用を進めるためには、森林の手入れを行うことが重要になりますが、我が国の森林面積の2分の1以上を占める私有林について、森林所有者が十分に手入れを行っていない場合、その手入れを誰が行うべきだとお考えですか。
（該当する番号を1つ回答用紙に記入してください。）

- 1 あくまでも森林所有者が中心となって手入れすべき
- 2 国や地方自治体が中心となって手入れすべき
- 3 分収育林への参加など国民全体で取り組むべき
- 4 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 5 わからない

〔参考〕

問7 あなたは、森林所有者として林業経営を行っていく上で、どのようなものがより好ましいとお考えですか。
(以下の(1)～(5)のそれぞれについて、該当する番号を1つずつ回答用紙に記入してください。)

(1) 森林の所有規模

- 1 規模化のメリットが生かせる百haを超える大規模な経営
- 2 小回りが利き、農業などとの兼業も容易な数十haから百ha程度の経営
- 3 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)

(2) 森林の手入れの方法

- 1 自家労働を主体にする
- 2 雇用労働を主体にする
- 3 請け負わせを主体にする
- 4 森林経営は他の人等にまかせる(分収造林)
- 5 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)

(3) 生産目標

- 1 並材を低コストで生産することを目指す
- 2 並材と高品質材の両方を生産することを目指す
- 3 単価のより高い高品質材や特殊材を生産することを目指す
- 4 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)

(4) 伐採の方法

- 1 できるだけまとまった面積の皆伐を行って作業能率を上げる
- 2 皆伐は行わず、間伐などを繰り返すことによってできるだけ造林や手入れの手間が生じないようにする
- 3 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)

(5) 林業の機械化(トラクタ等の配備)

- 1 高価格でも作業能率が高い機械を導入する
- 2 多少作業能率が低くても低価格な機械を導入する
- 3 機械はなるべく持たず、伐採などは請け負わせにより対応する
- 4 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)

問8 あなたは、林業事業体(伐採等の事業者、森林組合など)にどのような役割を期待しますか。(該当する番号を2つまで回答用紙に記入してください。)

- 1 高い技術力をもって、高能率・低コストの林業を実施する
- 2 植え付け、間伐等の個々の作業を引き受けること
- 3 長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること
- 4 作業のみならず、森林に係る計画策定から管理経営まで引き受けること
- 5 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)
- 6 特に期待する役割はない

御協力ありがとうございました。

平成12年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート票
森林資源の循環利用に関する意識・意向について

(平成12年6月)(消費情報提供協力者用)

農林水産省

アンケート票に記載いただいた内容は秘密扱いとし、統計を作成する以外の目的に使用することはありませんので、ありのままを回答用紙に御記入ください。

森林資源の循環利用について

我が国では、森林面積の4割を占める1千万haの人工林を中心に、着実に森林が育っており、これらの人工林は、徐々に伐採可能な時期を迎えつつあります。

森林は、伐採を行っても、その後に苗木を植え、下草刈りなどの手入れを行うことにより再生することができる再生可能な資源です。このように、植林・手入れ・伐採を通じて、森林から木材を繰り返し生産し、生産された木材を無駄なく長期にわたって利用することを「森林資源の循環利用」といいます。

本アンケートは、森林資源の循環利用を推進するため、森林資源の循環利用についての考え方や森林の手入れに関する意向等を把握するものです。

**問1 森林は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収・固定する働きをもっており、地球温暖化の防止に貢献していますが、あなたは、我が国において、健全な森林資源を育成し、そこから生産される木材を無駄なく長期にわたり利用していく（森林資源の循環利用）ことについて、どのように考えますか。
(該当する番号を1つ回答用紙に記入してください。)**

- 1 重要なことだと思う
- 2 重要なこととは思わない
- 3 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)
- 4 わからない

(問1で「1」を選択された方にお聞きします。)

**問2 森林資源の循環利用を進めていくためには、森林を整備することはもとより、合理的な加工・流通体制を確立することなどが必要となりますが、あなたは、森林資源の循環利用を進めるに当たって、何が重要だとお考えですか。
(該当する番号を3つまで回答用紙に記入してください。)**

- 1 森林所有者、森林組合(森林所有者の共同組織)等による森林整備や木材生産に関する自助努力
- 2 製材工場、大工・工務店などによる国産材や国産材住宅の販売の促進
- 3 公共事業における国産材の利用の促進
- 4 消費者が国産の木材を進んで利用する
- 5 森林の手入れなどのボランティア活動
- 6 国や地方自治体による支援の強化
- 7 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)
- 8 わからない

問3 森林資源の循環利用を進めるために、特に人工林については、手入れ（下草刈り、間伐など）を行い、健全に育てていくことが重要になりますが、あなたは、森林の手入れの状況についてどのようにお考えですか。
（該当する番号を1つ回答用紙に記入してください。）

- 1 手入れがされていると思う
- 2 手入れがされていないと思う
- 3 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 4 わからない

（問3で「2」を選択された方にお聞きします。）

問4 森林の手入れが十分にされていないと思った理由は何ですか。
（該当する番号を2つまで回答用紙に記入してください。）

- 1 森林を伐採した後に、植林されずに放置されている場所がみられたから
- 2 スギ林等で木の幹が細く込み合っていて、貧弱に見える森林がみられたから
- 3 新聞などで、森林の手入れが十分に行われていないこと等の報道を見たことがあるから
- 4 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

（問3で「2」を選択された方にお聞きします。）

問5 あなたは、森林の手入れが十分に行われていない原因として、どのようなものがあると考えますか。（該当する番号を2つまで回答用紙に記入してください。）

- 1 木材の価格が安いから
- 2 下草刈りや間伐などに費用がかかるから
- 3 森林を手入れする労働力が不足しているから
- 4 森林所有者が無関心だから
- 5 国や地方自治体の支援が不十分だから
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 7 わからない

問6 森林資源の循環利用を進めるためには、森林の手入れを行うことが重要になりますが、我が国の森林面積の2分の1以上を占める私有林について、森林所有者が十分に手入れを行っていない場合、その手入れを誰が行うべきだとお考えですか。
（該当する番号を1つ回答用紙に記入してください。）

- 1 あくまでも森林所有者が中心となって手入れすべき
- 2 国や地方自治体が中心となって手入れすべき
- 3 分収育林への参加など国民全体で取り組むべき
- 4 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 5 わからない

注：分収育林とは、例えば、緑のオーナー制度のように、生育途中の森林に対して一定の費用を負担し、森林所有者等とともに森林を育てることにより、伐採時の収益を分け合う制度をいいます。

御協力ありがとうございました。

[利用者のために]

1 アンケートの内容

森林を伐採した後に苗木を植え、手入れを行うことにより、森林から木材を繰り返し生産し、生産された木材を長期にわたって利用するという「森林資源の循環利用」を推進するため、森林資源の循環利用の考え方や森林の手入れに関する意向等を把握した。

2 アンケートの対象

生産者（農業者，林業者，漁業者），流通加工業者及び消費者の意見・意向等を迅速かつ的確に把握して農林水産行政に反映させることなどを目的とした「農林水産情報交流ネットワーク事業」において，全国に配置しているモニターの中から，次のモニターを対象とした。

(1) 林業者モニター : 729 人

林業者モニターは，原則として，保有山林面積50ha以上で，かつ，保有山林からの林産物（用材（立木・素材），ほだ木用原木等）の販売活動を行っている山間農業地域に所在する林業経営者を選定基準として，市町村からの推薦により選定した。

(2) 消費情報提供協力者 : 1,480 人

消費情報提供協力者は，原則として，都道府県庁所在地の都市に在住する20歳以上の者（農林漁家，料理飲食店，旅館経営等の世帯は選定対象としない。）を選定基準として，男女別・年齢階層別におおむね均等となるように選定した。

3 アンケート実施時期

平成12年6月上旬～中旬

4 アンケート方法

モニターにアンケート票を送付し，農林水産省の職員による面接・聞き取りの方法により行った。

5 回収結果等

区 分	配付者数 (人)	有効回答数 (人)	有効回答率 (%)
計	2,209	2,080	94.2
林業者モニター	729	702	96.3
消費情報提供協力者	1,480	1,378	93.1

6 インターネットによるアンケート

森林資源の循環利用について、広く国民の意見・考え方を把握するために、消費情報提供協力者に対するものと同内容のアンケート票をインターネット（農林水産省のホームページ）上に掲載し、メール方式によりアンケート調査を試行的に実施した。

この結果は、参考として統計表に掲載している。

(1) 実施時期

平成12年6月1日～平成12年6月30日（30日間）

(2) アクセス数及び回答数等

アクセス数 (件)	回答数 (件)	有効回答数 (件)	有効回答率 (%)
679	124	109	87.9

(3) 有効回答数の内訳

ア 男女別・年齢階層別

区 分	計		男 性		女 性		不 詳	
	有 効 回答数 (件)	構 成 比 (%)						
計	109	100.0	86	78.9	21	19.3	2	1.8

イ 林業者

区 分	有効回答数 (件)	構 成 比 (%)
計	109	100.0
うち、林業者	12	11.0

7 用語の説明等

- (1) 数値は、各設問（各区分）の有効回答数計を 100.0とする割合である。
- (2) ラウンドの関係で内訳の積み上げと計とは必ずしも一致しない。
- (3) 「(複数回答)」の表示があるものは、計が 100.0にならない。
- (4) 統計表に使用した「-」は、該当のないことを表す。

(5) 農政局等の区分は次のとおりである。

北海道 : 北海道
東北 : 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
関東 : 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 山梨, 長野, 静岡
北陸 : 新潟, 富山, 石川, 福井
東海 : 岐阜, 愛知, 三重
近畿 : 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
中国四国 : 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛, 高知
九州 : 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島
沖縄 : 沖縄

〈連絡先〉



統計はあなたの暮らしに活かしている

農林水産省 統計情報部

企画調整課 地域・環境情報室 地域情報班

電話 : 03 - 3502 - 8111 (内線3093, 3094)

03 - 3502 - 9427 (直通)

流通消費統計課 食品産業動向班

電話 : 03 - 3502 - 8111 (内線3297, 3285)

03 - 3501 - 2747 (直通)

農林水産省ホームページ 【<http://www.maff.go.jp/>】「統計情報」

(農林水産情報は再生紙を使用しています。)